



TITLE:

同好會報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

同好會報. 天界 1921, 1(10): 199-200

ISSUE DATE:

1921-08-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159601>

RIGHT:

## OUR ENGLISH PAGE

LETTER OF MISS JENKINS, our new member.

to Fukuro Machi, Suruga Dai,

Kanda Ku, Tokyo.

June 23, 1921.

My dear Professor Yamamoto,

I appreciate your kindness in extending to me the invitation of the Society of Astronomical Friends to join them, and I accept with pleasure. I would like to know a little more about the Society. How often do the meetings come? Are most of the members of the Society professional astronomers or are they people that are in other business but know something about the sky and are interested in celestial things?

I will be glad to sent you any observations of variable stars that I make, and I appreciate your kindness in offering to have them translated into Japanese. Should any article I might write contain technical terms, or should it be in more ordinary language?

If you are coming to Tokyo soon I hope that we can arrange to see each other. I shall be here until about the middle of next month, at which time I am going to Karuzawa.

Sincerely yours,

Louise F. Jenkins.

新入會員ミス、ジェンキンスより來信

## 同好會報

●上諏訪講演會 別頁記載の如く、山

本幹事は長野縣の招聘を受けて、去る七月下旬、同縣下、上田、長野、杉本、上諏訪四ヶ所で講習會に臨んだが、會々上諏訪に滞在申諏訪湖畔の霧ヶ峰上に東京天文臺の松隈、神田南理學士(何れも同好會員)が文部省測地學委員會の囑托として經度及緯度觀測をやつてゐたので、諏訪郡教育會の申出により、七月二十九日午前十時から、上諏訪女學校で左の如き講演會を開いた

「天文と人生」 山 本 氏

「流星と彗星」 神 田 氏

「相對性原理」 松 隈 氏

●支部新幹事 さきに同志社支部では海

老名幹事辭任を申出られたので、去る六月、本會は柴原東一氏に同支部幹事を囑托した。

●岡山支部毎月通信(水野)

一、大正十年四月二十二日午後六時から岡山市立商業學校で第二回支部例會を開き左の講話があつて、後三時望遠鏡で若干の天體を觀望した。

一、月の話 第六高等學校教授

理學士 宮原 節

二、支部會員總數 一百二十名 (四月二十五

日現在)

三、本年一月から毎月第二土曜日午後七時水野幹事宅で催して居た「天界」研究會を五月以降は宮原幹事宅で開く事に變更し當日は併せて三時望遠鏡で天體を觀望することにした。

四、八月下旬(四日開)山本理學士に御來岡を願つて天文學講習會を開催する豫定である

### ○岡山支部五月通信(水野)

一、雜誌「天界」研究會 毎月第二土曜日午後七時から水野幹事宅で開いて居たが第五回からは宮原幹事宅で催すことに變更し當日は三時望遠鏡で天體を觀望することに改めた、五月十四日に十數名の會員が集つて午後十時過まで研究した北極附近に現はれた彗星は見えなかつた。

二、岡山縣御津郡時博覽會 目下各町村巡廻開會中の同會に水野幹事は招かれて左の通り講話をした。

五月二十二日 宇垣尋常高等小學校で

「星の大小」

翌 二十三日 建部尋常高等小學校で

「星の神話」

三、六月十日「時の記念日」には岡山縣からの依頼により山本理學士は「地球の壽命」の題下に講演さるゝ筈である、岡山支部ではこれを機會として「岡山天文臺設置大演說會」を十一日に開き、十二日には都窪郡倉敷町へ宣傳の爲め山本本部幹事、宮原、水野支部兩事とも出向く豫定で同地の文化協會主催で講演會が開かれる筈である。

### ○岡山支部六月の活動(水野)

一、金光中學校に於て時記念日講演會開催され水野支部幹事は左の講演をなせり

「時計としての北斗七星」

一、昨年来三度山本本部幹事を迎へ左の通り大に宣傳に努めたり。

十日午後二時岡山縣會議事堂にて

地球の壽命 山本理學士

同日午後七時岡山市立商業學校にて

歐米の天文臺 山本本部幹事

岡山天文臺計畫の由來

水野支部幹事

十一日午前十時關西中學校にて

天の廣さ 山本理學士

同日午後七時津山高等女學校にて

天體の觀察 山本本部幹事

星の種類 水野支部幹事

十二日午後七時三十分都窪郡倉敷小學校にて

文化要素としての天文學

山本本部幹事

星座を見出す方法 水野支部幹事

夜半山本本部幹事は倉敷出發歸洛せられたり。連日連夜の御奮闘を深く感謝す。

一、二十六日より三日間水野幹事宅にて例會開催流星の觀測をなす筈なりしも曇天の爲め觀測をなすを得ず、左の講話のみありたり。

星座の話(三回) 水野支部幹事

一、二十八日午後一時御津郡福瀧小學校にて時博覽會開催され、水野支部幹事は同校に出張左の講話をなせり。

「太陽の恵」

### 消息

山本助教教授は文部省(測地學委員會)囑托として、重力偏差觀測のため、去る八月十日より長野縣淺間山に出張(會員荒木俊馬氏同行)月末終了と共に一旦歸洛、九月三日より同じ目的を以て、又、岩手縣水澤町に出張、更に九月末には東京附近の觀測をなし、十月初め歸洛の筈。